

市の財政状況をお知らせします

市では、財政の運営状況や各会計予算の執行状況を年2回市民の皆さんに公表しています。今号では、平成19年度決算状況および平成20年9月30日現在の平成20年度予算執行状況をお知らせします。

平成19年度決算状況

(1万円未満は四捨五入)
※平成19年度十和田市各会計歳入歳出決算書および決算説明書より

問い合わせ先 財政課財政係 (☎5111内線173)

一般会計

歳入総額 293億1,989万円

内 訳	市税 70億1,540万円 (23.9%) 市民税や固定資産税など、皆さんに納めていただいた税金	地方交付税 93億4,306万円 (31.9%) 財政状況に応じて、国から交付されたお金
	国・県支出金 48億2,709万円 (16.5%) 特定の公共事業などに対して、国や県から交付されたお金	地方譲与税、各種交付金 14億2,879万円 (4.9%) 自動車重量譲与税、地方道路譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金など
	市債 34億3,820万円 (11.7%) 主に、道路や施設整備などに充てるために、借り入れたお金	繰入金 18億6,572万円 (6.4%) 基金を取り崩したお金など
	その他 14億163万円 (4.7%) 分担金、負担金、使用料、財産収入など	

これらの収入が、次のような経費に使われました。

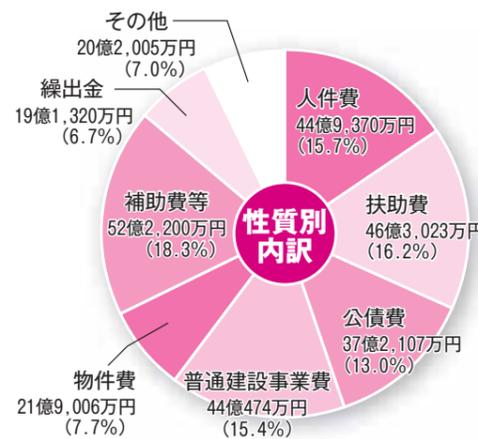
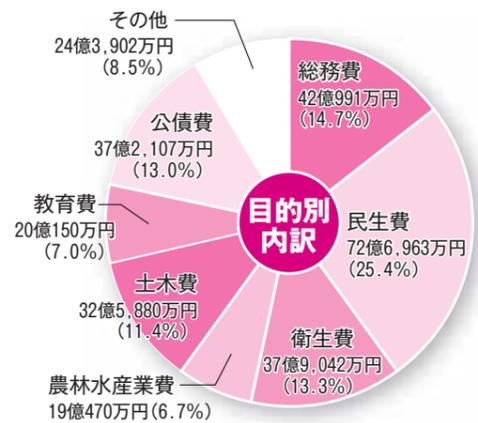
歳出総額 285億9,505万円

(平成20年3月31日現在 人口66,734人、世帯数26,299世帯)

市税	歳出
市民1人当たり 10万5,124円	市民1人当たり 42万8,492円
1世帯当たり 26万6,755円	1世帯当たり 108万7,305円

総務費	市の全般的な事務などに使われたお金
民生費	幼児やお年寄りなどの福祉に使われたお金
衛生費	各種健診、予防接種、ごみ処理などに使われたお金
農林水産業費	農林畜産業の振興などに使われたお金
土木費	道路、公園、住宅などの建設や管理に使われたお金
教育費	学校教育、スポーツ振興、学校建設などに使われたお金
公債費	借り入れたお金の返済に使われたお金
その他	消防や商工業、観光の振興などに使われたお金

人件費	職員の給与や手当、議員や各種委員への報酬など
扶助費	生活保護や児童扶養など各種手当支給のために使われたお金
公債費	借り入れたお金の返済に使われたお金
普通建設事業費	道路や学校などの建設事業に使われたお金
物件費	市の仕事に必要な消耗品、備品、光熱水費など
補助費等	負担金、補助及び交付金、物件移転等補償費など
繰出金	特別会計の事務費などの補助のために使われたお金
その他	維持補修費、災害復旧事業費、出資金など



平成19年度の主な事業 (1万円未満は切り捨て)

- 野外芸術文化ゾーン整備事業 11億3,004万円
- 市道の維持管理および整備事業 16億3,789万円
- 高森山総合運動公園整備事業 4億4,038万円
- 十和田湖保育園改築事業 1億1,876万円
- 西小学校建設事業 4,878万円

基金残高

42億8,169万円 (内訳: 財政調整基金9億8,975万円、減債基金12億5,631万円、特定目的基金20億3,563万円)

※基金とは特定の目的のために積み立てられる資金または財産のことです。
※財政調整基金とは経済状況や災害などの事由により、予期しない収入の減少や不時の支出増加に備え、長期的視野に立って年度間の財源の不均衡を調整するためのものです。
※減債基金とは借入金の返済を計画的に行うためのものです。
※新市のまちづくりに活用するためのまちづくり基金や、地域における高齢者の福祉の増進を図るための地域福祉基金など12の特定目的基金があります。

※平成19年度地方財政状況調査表より

特別会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	78億5,101万円	77億3,647万円
地方卸売市場事業	2,770万円	2,088万円
老人保健	50億2,457万円	49億904万円
介護保険事業	53億4,714万円	51億9,973万円
温泉事業	7,202万円	6,488万円

市債残高

369億7,387万円

※市債とは市が多額の経費を要する事業を行う場合に借り入れできる借金のことです。この市債は長期にわたって計画的に返済を行うことから、世代間の公平化が図られます。

企業会計

会計	収入	支出	
病院事業	収益的	59億8,580万円	63億9,387万円
	資本的	100億2,825万円	102億4,021万円
水道事業	収益的	16億6,871万円	15億2,046万円
	資本的	22億1,376万円	26億6,713万円
下水道事業	収益的	14億68万円	22億9,376万円
	資本的	29億8,213万円	34億1,722万円

※平成19年度十和田市公営企業会計決算書より

十和田市の家計簿

家計と市の財政は、お金の使い道も規模も違うので、単純に比べることはできませんが、皆さんに分かりやすく身近に感じてもらうために、平成19年度の一般会計決算を、日本の1世帯当たりの平均所得566万円の家計簿に例えてみました。



収入内訳		566万円	支出内訳		552万円
給料	市税	135万円	食費	人件費	87万円
パート収入	使用料、手数料、分担金、負担金など	13万円	光熱水費	物件費	42万円
親からの援助	地方交付税、国・県支出金、地方譲与税、各種交付金	301万円	家族の医療費	扶助費	89万円
借金	市債	66万円	冠婚葬祭費	補助費等	101万円
預金引出	繰入金	36万円	家の改築など	普通建設事業費	85万円
その他	財産収入、寄附金など	15万円	借金の返済	公債費	72万円
			子どもへの仕送り	繰出金	37万円
			その他	維持補修費、投資及び出資金、貸付金など	39万円
預金残高	基金残高	83万円	借金残高	市債残高	714万円

※日本の1世帯当たりの平均所得566万円に、十和田市の一般会計歳入決算総額に占める各経費の割合を乗じ、一般家庭におけるそれぞれの経費を算出しています。(平均所得は厚生労働省「平成19年国民生活基礎調査」を参考にしています。)

1年間の支出を賄うために、給料(市税)やパート収入(使用料など)より、親からの援助(地方交付税や国・県支出金など)が多く、預金を取り崩したり(繰入金)、借金(市債)に頼らざるを得ない状況です。支出は、冠婚葬祭費(補助費など)や家族の医療費(扶助費)、家の改築など(普通建設事業費)、借金の返済(公債費)の割合が高く、食費や光熱水費(人件費や物件費)などを切り詰めてやりくりをしています。また、年収566万円を上回る714万円の借金も残っています。

